

- 名前
田中 沙知



- 学歴
江戸川女子高等学校 普通科
2007年(平成19年) ～ 2009年(平成21年)

- 東京農工大学農学部 地域生態システム学科
2010年(平成22年) ～ 2013年(平成25年)



- 東京農工大学大学院農業環境工学専攻
2014年(平成26年) ～ 2016年(平成28年)

- 現在の所属と主な業務
農林水産省 北陸農政局 新川流域農業水利事業所 調査設計課

新川流域農業水利事業所 調査設計課で実施されている業務は以下のとおりです。

- 事業の予算要求・予算管理
- 排水機場の改修設計（土木構造物・建屋・ポンプ設備・除塵設備等）
- 排水路の改修設計
- 事業実施地区の環境調査
- 事業の広報

- そもそも農工大大学院に来るきっかけは？

大学1年生の実習で長野を訪れ、農家民泊をしながら農作業を体験して以降、農業や農村地域に魅了されてきました。そのなかで、農業や農村地域の維持・発展のためには、まず農業を行うための生産環境や生活環境を基盤から支えることが重要であると考え、農業土木の門戸をたたきました。

なかでも、学部時代より農村計画学の研究室でフィールド調査を含めて研究を行いました。学部時代の経験を踏まえてさらに深く学びたいと思ったことが、大学院に進学したきっかけです。

- 大学院入試について

農業環境工学専攻の先輩方から過去問を譲っていただき、主に過去問を用いて勉強をしました。そのなかで、苦手な分野については過去問の内容に類する問題を教科書等で探し、反復練習していました。

- 農工大ではどのような研究に取り組みましたか？

グリーン・ツーリズムを実施している地域の農地の経年変化に着目し、グリーン・ツーリズム導入地域における土地利用計画の策定のあり方を検討するための研究をしていました。

- なにか在学中のエピソードを

群馬県みなかみ町のたくみの里に通い、地域の方々の協力を得ながら調査・研究をさせていただきました。農地の利用状況を農地一筆ごとに調査した際には、研究には体力も必要なのだと実感しました。また、地域住民の方々へ聞き取り調査をした際には、見知らぬ学生の訪問にも関わらず皆さん丁寧にご対応いただき、農村地域の方々の優しさに触れることができました。

- 農工大で学んだことが現在の業務に活かされていますか？

農業環境工学専攻で学ぶことができる分野は、農業土木だけではなく生産工学もあります。また、他選考の講義も受講できることから、農業・農村に関する幅広い知識を得ることができるため、今の業務に大変参考となっています。

また、専門知識だけではなく、ゼミや修士論文の執筆の課程で学んだ、スケジュール管理や文章作成、発表方法なども業務に活かされています。

- これから農工大を目指す人に一言

農工大は、農業・農村について幅広く、そしてより専門的に学ぶことができる環境が整っている大学です。また、農業環境工学専攻は、学生と教員間の関係も良好で、卒業後でも困ったときには相談できる師と出会うことができる専攻です。農工大を目指す人は、まず一度大学を訪れてはいかがでしょうか。